

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床検査総合管理学特論	3年次	必修	講義	2単位（60時間）	小林 浩二
授 業 概 要					
臨床検査技師として必要な検査管理学、精度管理学、公衆衛生学、医用工学、情報科学、医療安全管理学、検査機器学について学習する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療における臨床検査の意義、組織、業務について説明できる。</li> <li>・臨床検査における総合精度管理について説明できる。</li> <li>・臨床検査業務を行う上で、各種検体採取とその安全管理について説明できる。</li> <li>・検査領域で共通して使用する機器の原理、使用目的や保守管理について説明できる。</li> <li>・検査領域に必要な医用工学の基礎知識と機器構成の基本回路について説明できる。</li> </ul>					
実務経験のある教員					
金子博司：病院での臨床経験を踏まえ、臨床検査で使用する機器について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-4	検査管理学：臨床検査部門の業務・運営について 臨床検査部門の各種管理について				小林 浩二
5-8	精度管理学：各種検体の取り扱いと保存について 精度管理と品質保証、信頼性評価と認証制度				
9-12	公衆衛生学：公衆衛生の意義、人口統計と健康水準、疫学、環境と健康、 健康の保持増進と予防医学、衛生行政、国際保健、関係法規				木村 幸一郎
13-16	医用工学：医用工学の基礎と応用、医用電子技術 生体物性と情報の収集、安全対策について				
17-20	情報科学：情報処理と情報システム ネットワークとセキュリティ 医療情報倫理と医療情報危機管理				
21-26	医療安全管理学：医療倫理と医療安全、各種採血法について 医療安全管理学で取り扱う各種検査等の手技に伴う注意 事項と安全管理、医療安全管理における各種検査等における 検体採取と注意事項・安全管理				金子 博司 ※
27-30	検査機器学：臨床検査で使用する共通機器の原理・使用方法と注意事項 各種臨床検査で使用する機器の原理・使用方法と注意事項				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書及び配付資料を用いて予習・復習を行うこと。</li> <li>・記憶の定着を促すため、定期的にWEB教材による知識の確認を行うこと。</li> <li>・国家試験形式の問題に取り組むこと。</li> </ul>					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験は3回実施し、その平均点で評価する。</li> <li>・試験は臨床検査技師国家試験出題基準（厚生労働省医政局医事課）に準ずる問題200題とし、その得点率により評価する。</li> </ul>					
先 修 科 目					
基礎分野、専門基礎分野及び専門分野のうち、1年次及び2年次に配当されているすべての必修科目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
臨床検査学講座 検査管理総論（著者：大澤進 出版：医歯薬出版株式会社）					
臨床検査学講座 医用工学概論（著者：嶋津秀昭 出版：医歯薬出版株式会社）					
臨床検査学講座 検査機器総論（著者：三村邦裕 出版：医歯薬出版株式会社）					
臨床検査学講座 医療安全管理学（著者：諏訪部章 出版：医歯薬出版株式会社）					